

Pioneer

マルチ CD/MD コントロール
DSP チューナー CD デッキアンブ

FH-P8800

取扱説明書

carrozeria

目次 4 ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

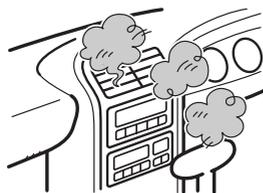
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

1	各部のなまえ	6
2	本機の操作の基本	8
3	リモコンの準備	10
4	バッテリー上がりを防ぐために	10
5	ミュート機能について	11
6	本機のリセットについて	11
7	フロントパネルの角度を調節する	12
8	「CD TEXT」について	13

ここだけでここだけ読めばすぐ使えます

1	聞きたいソース (音源) を選ぶ	14
2	CDのふだんの操作	16
	CDを再生する	
	曲を選ぶ	
	早送り/早戻しをする	
	音量を調節する	
	CDを取り出す	
3	テープのふだんの操作	18
	テープを再生する	
	再生する面を選ぶ	
	音量を調節する	
	テープを取り出す	
4	ラジオのふだんの操作	20
	バンドを選ぶ	
	放送局を選ぶ	
	音量を調節する	
5	マルチCDのふだんの操作	22
	CDを選ぶ	
	曲を選ぶ	
	早送り/早戻しをする	
	音量を調節する	

内蔵CD 内蔵CDでCDを聞く

1	演奏方法を切り換える	24
2	CDのタイトルを記憶させる	26
3	表示を切り換える	28

ラジオ ラジオを聞く

1	放送局を1局ずつ記憶させる	30
2	記憶させた放送局を呼び出す	31
3	モードの切り換えかた	32
4	複数の放送局を自動的に記憶させる	33
5	2つのアンテナでFM放送を受信する	33
6	放送局名を選ぶ	34
7	表示を切り換える	35

テープ テープを聞く

1	早送り/巻き戻しや頭出しをする	36
2	モードの切り換えかた	37
3	同じ曲を繰り返し聞く	37
4	聞きたい曲を探す	38
5	長い無音部分を自動的に早送りする	39
6	ドルビー B NRでテープを聞く	39

マルチCD マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

1	聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚)	40
2	おおまかに選んでから 聞きたいCDを選ぶ (50枚)	40
3	モードの切り換えかた	41
4	同じ曲やCDを繰り返し聞く	42
5	聞きたい曲やCDをさがす	43
6	いつもと違う曲順で聞く	44
7	聞きたい曲だけ記憶させておく	45
8	記憶させた曲だけ再生する	46
9	記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す	47
10	記憶させた曲をCDごとに記憶から消す	47
11	CDのタイトルを記憶させる	48
12	CDの音質を調整する	50
13	CD再生を一時停止する	51

C O N T E N T S

14	タイトルを見て 聞きたいCDをさがす	51
15	表示を切り換える	52

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

ここだけ読めば
すぐ使えます

音の調節

音を調節する

1	瞬時に音量を小さくする	54
2	オーディオ調節モードの切り換えかた	54
3	前後左右の音量バランスを調節する	55
4	小音量時の音にメリハリをつける	55
5	各ソースの音量の違いをそろえる	56
6	サブウーファーを使う	57
7	サブウーファーを調節する	57

DSP調節

音場と音質を調節する

1	DSP調節モードの切り換えかた	58
2	音場の中心で聞く	58
3	音楽に合った音質を設定する	60
4	イコライザーカーブを 細かく調節する	61
5	オートイコライジングを行う前に	62
6	オートイコライジングを行う	64

便利な機能

便利な機能と初期設定

1	交通情報を受信する	66
2	時計、カレンダーなどを表示させる	67
3	初期設定モードの切り換えかた	68
4	時計を合わせる	69
5	日付を合わせる	69
6	自動的に時計表示に 切り換わるようにする	70
7	RCA外部出力から 出力される信号を選ぶ	70
8	外部機器の音声を聞く	71
9	外部機器の名称を入力する	71
10	音の歪みを補正する	72
11	夜間のディスプレイの 明るさを切り換える	73
12	ディスプレイの明暗を調節する	73

はじめに

内蔵CDでCDを聞く

ラジオを聞く

テープを聞く

マルチCDでCDを聞く

音を調節する

音場と音質を調節する

便利な機能と初期設定

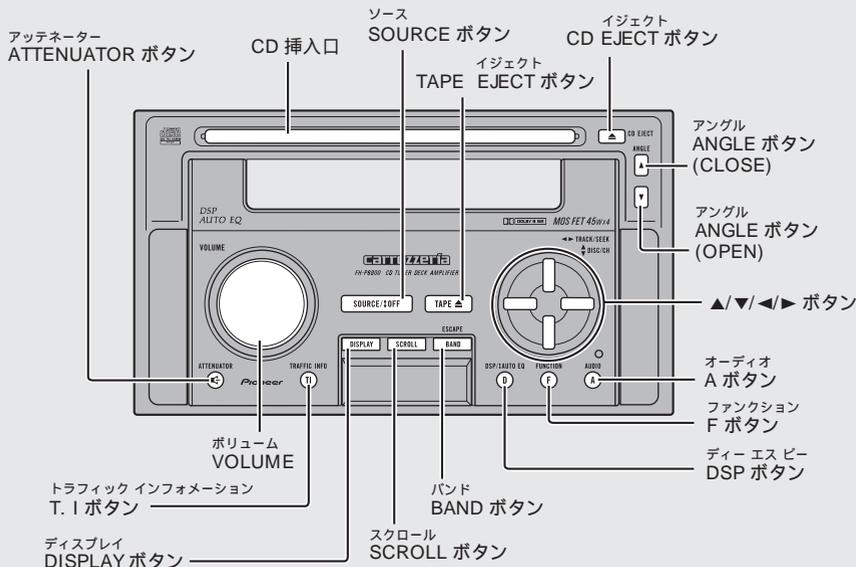
その他 (付録)

その他

その他 (付録)

1	CDの正しい使いかた	74
2	テープの正しい使いかた	76
3	保証書とアフターサービス	77
4	故障かな?と思ったら	78
5	こんなメッセージが表示されたら	81
6	おもな仕様	82

本体 (クローズ時)



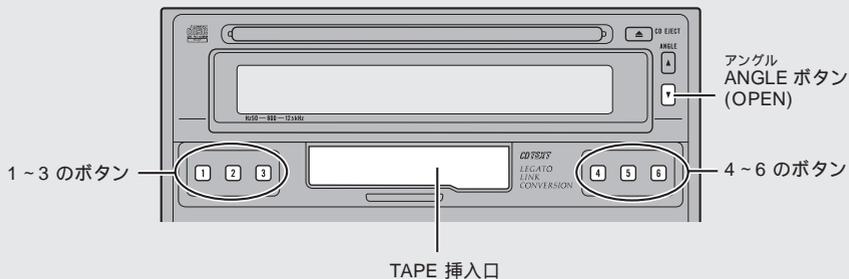
デモモードについて

電源がOFFのときにDISPLAYボタンを押す
(もう一度押しすと終了)

ディスプレイ上にデモンストレーションが表示されます。

本体 (オープン時)

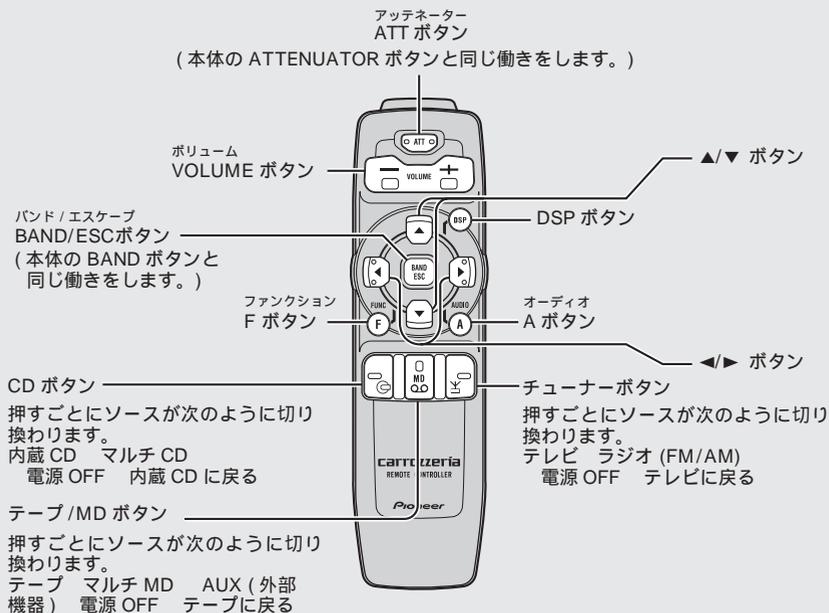
ANGLE (OPEN) ボタンを2回押しすと、フロントパネルが完全に開きます。



リモコン

各ボタンは、本体の同じなまえのボタンと同じ働きをします。

CD、テープ/MD、およびチューナーボタンは、リモコンだけに付いているボタンです。



メモ

接続していないソースには切り換わりません。
CDやテープがセットされていないときは、そ
のソースには切り換わりません。
AUX (外部機器) の設定 (E3 便利な機能 71
ページ) を ON にしないと、AUX には切り換わ
りません。

本機の操作の基本

本機を操作するとき、よく使うボタンなどについての説明です。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ボタンおよびBANDボタンで操作します。

聞いているソース 押すボタン	CD、MDを 聞いているとき	テープを 聞いているとき	ラジオ、テレビを 聞いているとき
◀または▶ボタン	選曲、早送り/早戻し	早送り/巻き戻し、頭出し	自動選局、手動選局
▲または▼ボタン	再生するディスクの切り換え (マルチCD、マルチMD を接続している場合のみ)	—————	記憶させた放送局の切 り換え
BANDボタン	—————	再生方向 (A面/B面) の 切り換え	バンド (FM/AM) の切 り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。
オペレーションモードには5つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ 調節モード	DSP調節 モード
1	それぞれの モードにする	Fボタンを押す	Fボタンを 2秒以上 押す	電源がOFF のときに、 Fボタンを 2秒以上 押す	Aボタンを 押す	DSPボタンを 押す
2	機能を切り換える	Fボタンを押す			Aボタンを 押す	DSPボタンを 押す
3	機能をON/OFFする または 項目を選ぶ	▲または▼ボタンを押す				▲/▼/◀/▶ ボタンを押す (選択または調節)
		◀または▶ボタンを押す				
4	それぞれの モードを解除する	BANDボタンを押す				

それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード** : 内蔵CDのリピート再生 (☞ 内蔵CD① 24ページ) やマルチCDのスキャン再生 (☞ マルチCD⑤ 43ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作できます。
- 詳細設定モード** : 内蔵CDのタイトル入力 (☞ 内蔵CD② 26ページ) やラジオの放送局名選択 (☞ ラジオ⑥ 34ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード** : 外部機器 (☞ 便利な機能③ 71ページ) やデイマー (☞ 便利な機能① 73ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード** : フェーダー/バランス (☞ 音の調節④ 55ページ) など、音に関する調節ができます。
- DSP調節モード** : グラフィックイコライザー (☞ DSP調節③ 60ページ) などの音場と音質に関する調節ができます。

はじめに

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。

ガイド表示などは、フロントパネルが開いているときだけ表示されます。本書でのディスプレイ表示は、すべてフロントパネルが開いたときの例で説明しています。



F、A、DSP、▲/▼/◀/▶ ボタンの中で、操作可能なボタンが表示されます。

表示の例

内容



▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。



◀または▶ ボタンで項目を選ぶことができます。
また、F ボタンで機能を切り換えることができます。



▲または▼ ボタンで機能のON/OFFができます。
また、A ボタンで機能を切り換えることができます。



▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。
また、DSP ボタンで機能を切り換えることができます。

はじめに

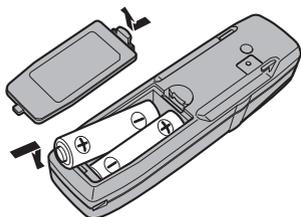
3

リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

裏ボタンを開けて、単4形乾電池 (R03) 2本をセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

リモコンの取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。

乾電池は、充電しないでください。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

メモ

誤ってリモコンのBANDボタンを押しながらFボタンを押してしまうと、ATTボタン、DSPボタン、VOLUMEボタンが動かなくなります。この場合、リモコンのBANDボタンを押しながらAボタンを押すと、元に戻ります。

はじめに

4

バッテリー上がりを防ぐために

バッテリー上がりを防ぐためのご注意

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のエンジンスイッチをON (またはACC) にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

はじめに

5

ミュート機能 について

ミュート

ミュート機能のある製品（パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-D9000」など）と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は“0”になります。

ミュート機能が解除されると、自動的に、もとの音量に戻ります。

はじめに

6

本機のリセットに ついて

リセット

本機のマイコンを初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻すことができます。

リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

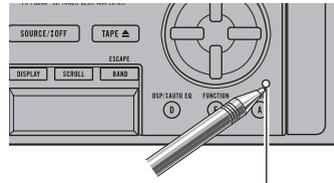
接続が終わった後。

本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

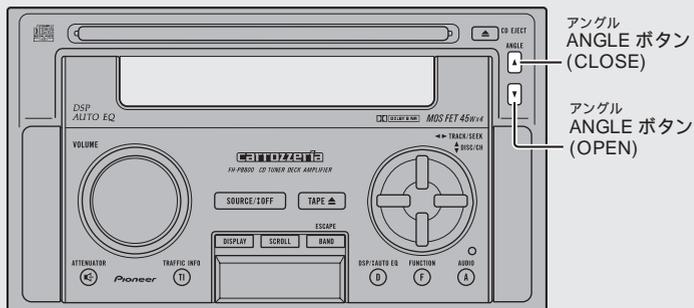
1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

はじめに



はじめに

7

フロントパネルの角度を調節する

角度調節

フロントパネルの角度を調節して、操作をしやすくすることができます。

1 フロントパネルの角度を調節する

ANGLE (OPEN/CLOSE) ボタンを押す

OPEN : ボタンを押すごとにフロントパネルが傾きます。

CLOSE : ボタンを押すごとにフロントパネルが立ち上がります。



ご注意

角度の調節は、手動で行わないでください。フロントパネルに強い力が加わると、故障することがあります。フロントパネルを閉じると、ディスプレイの一部が表示されなくなります。本書でのディスプレイ表示は、すべてフロントパネルが開いているときの例で説明しています。

メモ

フロントパネルの角度は、3段階に調節することができます。

車のACC (アクセサリー) 電源をOFFにすると、約6秒後にフロントパネルが閉じます。もう一度ONにすると、元の位置に戻ります。

リモコンの取付位置によっては、フロントパネルの角度調節を行うとリモコンでの操作が効かなくなることがあります。このようなときは、リモコンを本機に近づけて操作してください。

⚠ 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。フロントパネルを全開にしたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

内蔵CD

テレビ (別売)

ラジオ (FM/AM)

テープ

マルチ MD (別売)

マルチ CD (別売)

EXT (エクスターナルユニット) (別売)

AUX (外部機器) (別売)

内蔵CDに戻る

2 電源を切る

SOURCE ボタンを1秒以上押す
本機の電源が切れます。

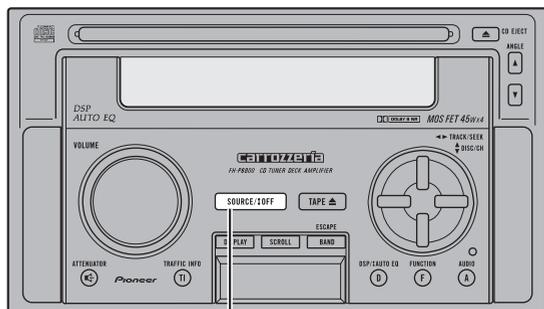
メモ

接続していないソースには切り換わりません。
CDやテープがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。

AUX (外部機器) の設定 (☞ 便利な機能 ⑦ 71 ページ) をONにしないと、AUXには切り換わりません。

EXT (エクスターナルユニット) とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品 (将来発売される製品など) の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機でEXT (エクスターナルユニット) としてコントロールできる製品は1台だけです。

本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナのコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。



ソース
SOURCE ボタン

テレビ、マルチMDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

組み合わせ例

ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P7000W」
マルチMD	「MD-P100II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

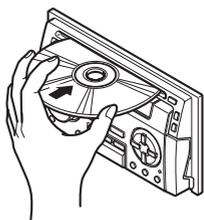
また、本機はマルチMDでCOMP機能を使用することができます。COMP機能については、内蔵CDを参照してください。

(内蔵CD 24 ページ)

ここだけの操作で、内蔵のCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 CDを再生する

タイトル面を上にして、CD挿入口に差し込む



CDの再生が始まります。



ご注意

CDシングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

「CD TEXT」を再生する場合は、CDをセットしたときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。

タイトル入力 (E) 内蔵CD (2) 26ページ) したCDを再生する場合は、CDをセットしたときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、ディスクタイトルを自動的に1回スクロール表示します。



2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

「CD TEXT」を再生している場合は、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース (ラジオやテープなど) に切り換えることもできます。(E) ここだけで (1) 14ページ)

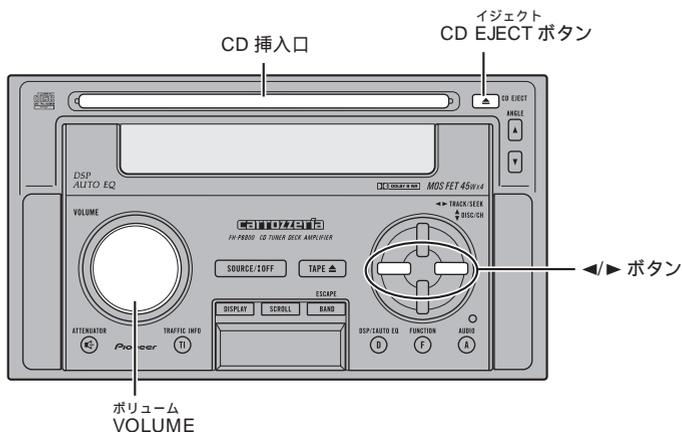
早送り/早戻しをする

音量を調節する

CD を取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます

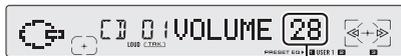


3 音量を調節する

VOLUME を回す

右に回す：大きくするとき

左に回す：小さくするとき

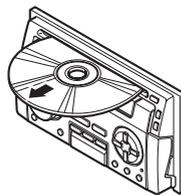


音量は 0 ~ 62 の範囲で調節できます。
約 4 秒間、音量が表示されます。

4 CD を取り出して CD 再生をやめる

CD EJECT ボタンを押す

CD が出てきます。



出てきた CD はすぐに取り出して、保管してください。

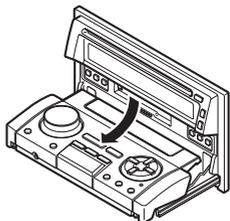
ここだけで 3 テープのふだんの操作

テープを再生する 再生する面

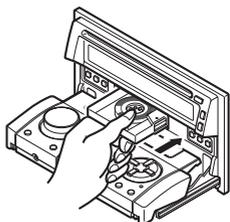
ここだけの操作で、テープを聞くことができます。

1 テープを再生する

TAPE EJECT ボタンを押して、フロントパネルを開ける



テープ面を右にして、TAPE 挿入口に差し込む



テープの再生が始まります。



メタル/クローム テープのときに再生時間カウンター表示されます。

2 再生する面を選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、再生する面が切り換わります。



上にした面を再生



下にした面を再生

⚠ 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。フロントパネルを全開にしたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

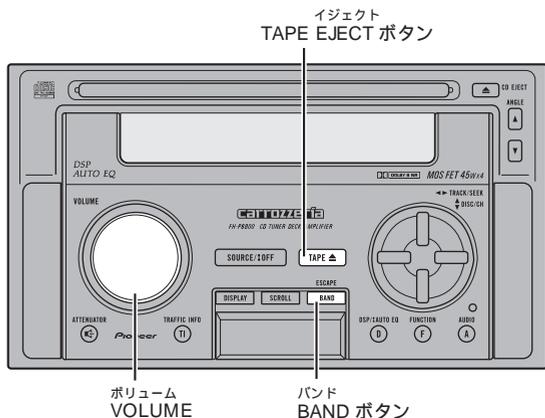
メモ

再生時間カウンターは、テープを再生している時間をカウントしていますので、テープが早送り/巻き戻しされている間は、カウントが止まります。再生時間カウンターは、次のときにリセットされ、“0”に戻ります。

- * テープを入れ換えたとき
- * 再生面が切り換わったとき
- * テープが先頭まで巻き戻されたとき

テープをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース（ラジオやCDなど）に切り換えることもできます。（☞ ここだけで 14 ページ）

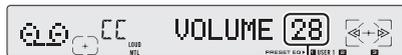
ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

VOLUME を回す

右に回す：大きくするとき
左に回す：小さくするとき



音量は0～62の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

4 テープを取り出して再生をやめる

TAPE EJECT ボタンを押す

フロントパネルが開き、テープが自動的に
出てきて、電源がOFFになります。



出てきたテープはすぐに取り出して、
保管してください。

もう一度TAPE EJECT ボタンを押して、
フロントパネルを閉める
フロントパネルが閉まります。

ここだけで ラジオのふだんの操作

4

バンドを選ぶ

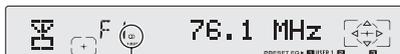
放送局を選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを ラジオにする

SOURCE ボタンを押す

ラジオを受信します。

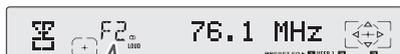


ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 バンドを 選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



F1 (FM1) F2 (FM2)

A2 (AM2) A1 (AM1)

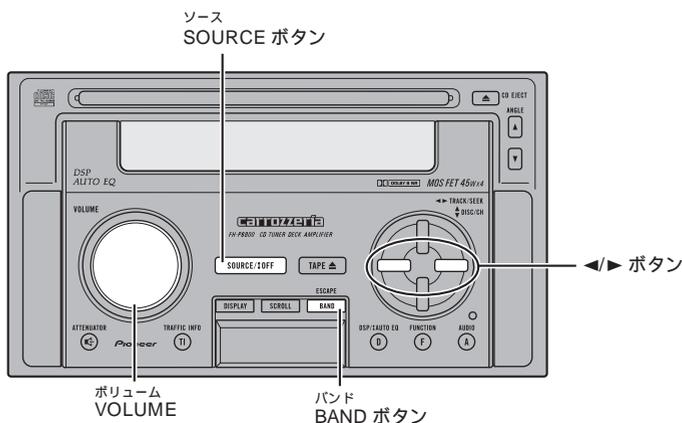
バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(ラジオ④ 30、33ページ)

バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのかわからない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSM (ラジオ④ 33ページ) を使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのままお使いになれます。

音量を調節する

バンド切り換え / 選局 / 音量調節

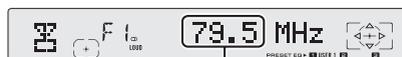
ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を 調節する

VOLUMEを回す

- 右に回す : 大きくするとき
- 左に回す : 小さくするとき



音量は0～62の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (E 23) ここだけで① 14ページ)

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCE ボタンを押す

マルチCDの再生が始まります。



「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P650」など）に「CD TEXT」をセットしたときは、他のソースからマルチCDに切り換えたときやCDを選んだときに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。

タイトル入力 (ⓘ マルチCD 48 ページ) したCDを再生する場合は、他のソースからマルチCDに切り換えたときやCDを選んだときに、ディスクタイトルを自動的に1回スクロール表示します。

2 聞きたいCDを 選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次のCDを選ぶとき

▼ : 前のCDを選ぶとき



CD番号

メモ

マルチCDが準備動作（CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど）をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“READY”が表示されます。

50連奏マルチCDを操作する場合は、準備動作が終了していないと“NOT READY”と表示され動作しない機能があります。その場合は、50連奏マルチCD以外のソースに切り換えてください。その間に自動的に準備動作を行います。

本機に、50連奏マルチCDプレーヤー「CDX-P5000」を接続しても、次の機能は操作できません。

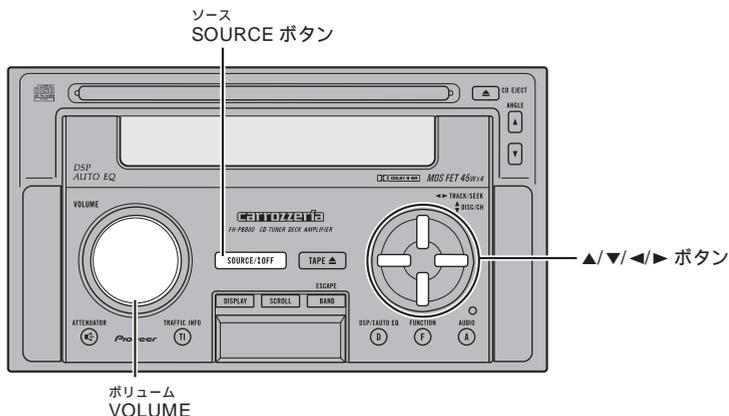
* ミュージックグループ別プレイ

* 演奏頻度別プレイ

* “ABC” ディスクタイトルサーチプレイ

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO.MAGAZINE”が表示されます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

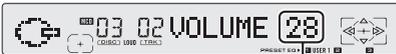
聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー(「CDX-P650」など)に「CD TEXT」をセットしたときは、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

4 音量を調節する

VOLUMEを回す

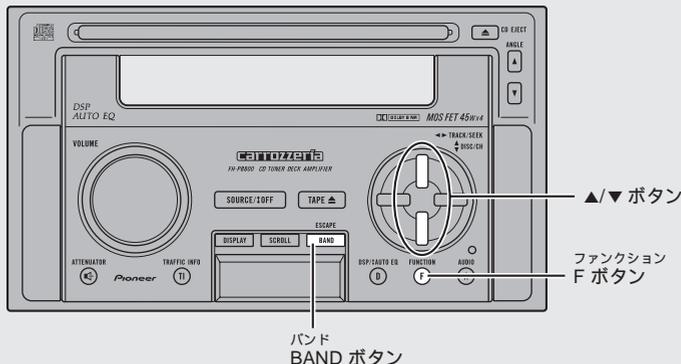
右に回す : 大きくするとき
左に回す : 小さくするとき



音量は0 ~ 62の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

5 マルチCD再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (E 23) ここだけで① 14ページ)



内蔵CD 1 演奏方法を切り換える

内蔵のCDプレーヤーで演奏方法を切り換えて聞くことができます。

1 ファンクションモードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード

ランダムモード

トラックスキャンモード

ポーズモード

COMP 切り換えモード

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

COMP 切り換えモード以外を選んだとき

2 選んだ演奏方法を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

COMP 切り換えモードを選んだとき

2 機能を選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

COMP OFF COMP 1 COMP 2

DBE 2 DBE 1 COMP OFF

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

ファンクションモードについて

リピートモード

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

ランダムモード

選曲を内蔵CDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

トラックスキャンモード

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々と再生していきます。聞きたい曲が再生されたらスキャン再生をOFFにしてください。(スキャン再生を始めて約30秒たつと、ファンクションモードが自動的に解除されます。この場合、再度トラックスキャンモードに切り換えてから、スキャン再生をOFFにしてください。)

メモ

スキャン再生は、スキャン再生を始めた曲まで戻ると、自動的に解除されます。

ポーズモード

CD再生を一時停止します。

COMP切り換えモード

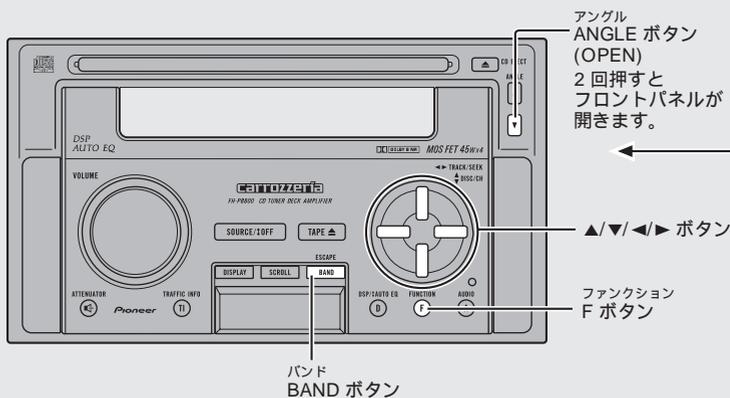
大きな音と小さな音の音量差を小さくしたいときや、低音域を押し上げたいときに選択してください。COMPもDBEも2段階に切り換えられますが、1より2のほうが、より効果があります。

COMPについて

COMPとは、COMPression (コンプレッション)の略です。コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞き取りにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス)の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。



内蔵CD

2

CDのタイトルを記憶させる

CDのタイトルを表示させる (内蔵CD 28ページ) ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルは10文字まで入力できます。

タイトルは、CD48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。そのCDをマルチCDにセットしたとき、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチCDを組み合わせて使うときは、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

(内蔵CD ここだけで 16ページ)

2 タイトル入力モードにする

Fボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

ご注意

「CD TEXT」にはタイトルを入力することはできません。このため、「CD TEXT」を再生中にFボタンを2秒以上押しても、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルは変更できません。)

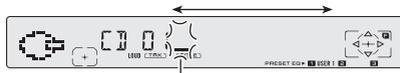
3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

▶: 右に移動させるとき

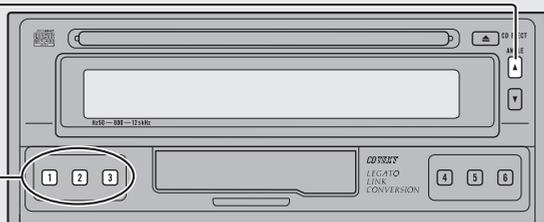
◀: 左に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。

アングル
ANGLE ボタン
(CLOSE)
2 回押すと
フロントパネルが
閉まります。

1~3 のボタン



1~3 のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

タイトル入力

入力する文字を選ぶとき

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

選べる文字は次のように切り換わります。

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a~z)、空白 (_) アルファベットの 大文字 (A~Z)、数字 (0~9)、記号 (!、#、&など) 空白 (_)
2ボタン	数字 (0~9)、 記号 (!、#、&など)、 空白 (_)
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア~ン)、 ハイフン (-)、 空白 (_) 拗促音 (ア、ヨ、ツなど)、 濁点、半濁点、 空白 (_)

4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す

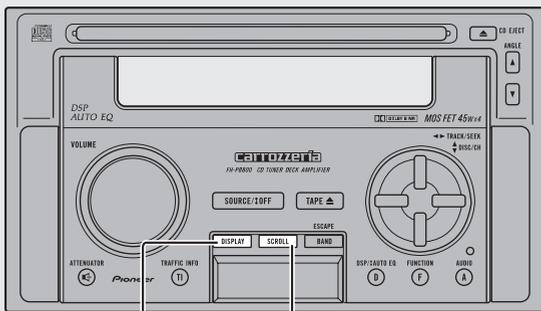


入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND ボタンを押して、タイトル入力モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に BAND ボタンを押すと、タイトル入力モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)



ディスプレイ
DISPLAY ボタン

スクロール
SCROLL ボタン

内蔵CD

3

表示を切り換える

表示切り換え

再生経過時間以外に、ディスクタイトル(ディスク名) やトラックタイトル(曲名) などを表示させることができます。タイトルは一度に10文字まで表示できます。また、「CD TEXT」でタイトルが10文字を超える場合は、隠れている文字を順に表示(スクロール表示) させることもできます。

タイトル表示について

タイトル入力(内蔵CD 26ページ)したCDはディスクタイトルを表示することができます。トラックタイトルやアーティストネームに切り換えると“NO TITLE”、“NO DA-NAME”、および“NO TA-NAME”が表示されます。

本機はカナ文字に対応していますので、カナやアルファベットの小文字がそのまま表示されます。

表示をディスクタイトル、トラックタイトル、およびアーティストネームに切り換えたときに、自動的に1回スクロール表示します。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



1

表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ディスプレイが切り換わります。

例) ディスクタイトル表示



表示は次のように切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル (ディスク名)

ディスクアーティストネーム (歌手名)

トラックタイトル (曲名)

トラックアーティストネーム (歌手名)

時計表示 (☞ 便利な機能② 67 ページ)

カレンダー表示 (☞ 便利な機能② 67 ページ)

エンターテイメント表示
(☞ 便利な機能② 67 ページ)

再生経過時間表示に戻る

2 隠れているタイトルを表示する (スクロール表示)

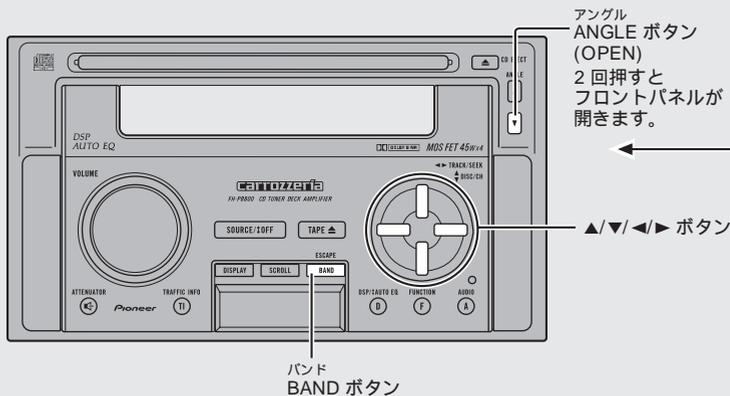
SCROLL ボタンを押す



隠れている文字が順番に表示されます。

メモ

トラックアーティストネームなどが収録されていない「CD TEXT」で表示を切り換えると、「NO TA-NAME」などが表示されます。



ラジオ
1

放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 20 ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 21 ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。

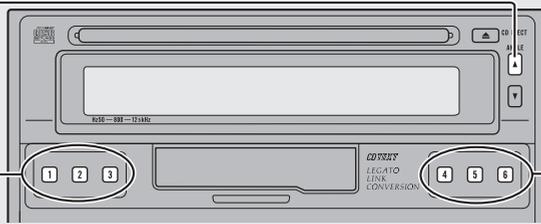


記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ②)

アングル
ANGLE ボタン
(CLOSE)
2 回押すと
フロントパネルが
閉まります。



1 ~ 3 のボタン

4 ~ 6 のボタン

1 ~ 6 のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

ラジオ
2

記憶させた放送局を 呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことが
できます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

(ここだけで④ 20 ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

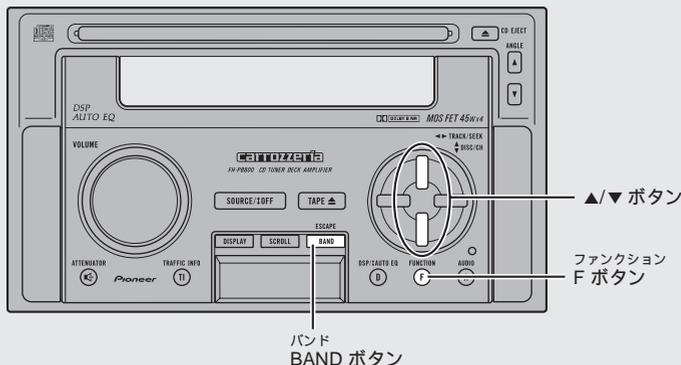
▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき

記憶させた放送局を直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの1 つを押す



受信中の記憶番号



ラジオ 3 モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードにする

F ボタンを押す
BSM モードになります。
(ラジオ④)

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

F ボタンを 2 秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

放送局名選択モード
(ラジオ⑥ 34 ページ)

ダイバーシティ設定モード
(ラジオ⑤)

放送局名選択モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(☞ ここだけで④20ページ)

2 BSM モードにする

F ボタンを押す
(☞ ラジオ①)



3 BSM を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。

記憶が終わると、点滅が止まり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



受信中の記憶番号

メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ②31ページ)

2つのアンテナでFM放送を受信する

FMダイバーシティ

FMダイバーシティをお使いのときは、ダイバーシティの設定をONにします。

FMダイバーシティについて

FMダイバーシティは、FM放送を2つのアンテナで受信するものです。ダイバーシティをONにすると、メイン用アンテナの受信感度が悪いときは、自動的にサブ用アンテナに切り換えて受信します。

FM放送を1つのアンテナで受信するときは、FMダイバーシティをOFFにしてください。ONにすると、感度が悪くなったり、雑音が増加したりすることがあります。

1 ダイバーシティ設定モードにする

F ボタンを2秒以上押してから、F ボタンを押して選ぶ (☞ ラジオ①)

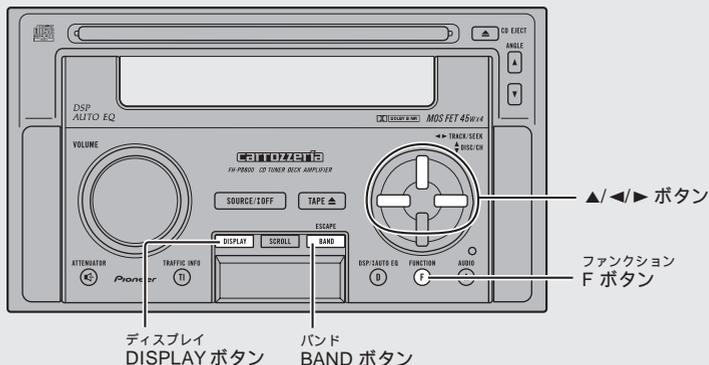


2 ダイバーシティの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



ラジオ 6 放送局名を選ぶ

放送局名選択

ラジオの放送局名を表示させる (☞ ラジオ 7) ために、あらかじめ放送局名を選んでおきます。

放送局名表示について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例：FM 80.0MHz を使用している放送局は、“TOKYO FM”、“FM青森”、“FM福岡”など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

1 放送局名を変更する バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(☞ ここだけで 20 ページ)

2 放送局名を表示させたい 放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(☞ ここだけで 21 ページ)

3 放送局名選択モードにする

F ボタンを 2 秒以上押してから、F ボタンを押して選ぶ (☞ ラジオ 32 ページ)



約 2 秒間表示されます。

受信周波数以外に、放送局名選択で選んだ放送局名などを表示させることができます。

4 放送局名を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の放送局名を選ぶとき

◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名が点滅します。

5 放送局名を変更する

▲ ボタンを押す



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA”と表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、“-----” (全て空白) を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD (「CDX-FM653 など」) をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、“FM M-CD”の放送局名を選ぶことができます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

例) 放送局名表示



表示は次のように切り換わります。

受信周波数表示

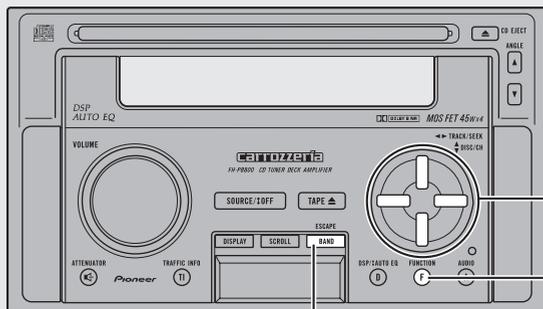
放送局名表示

時計表示 (☞ 便利な機能② 67 ページ)

カレンダー表示 (☞ 便利な機能② 67 ページ)

エンターテインメント表示
(☞ 便利な機能② 67 ページ)

受信周波数表示に戻る



バンド BAND ボタン

テープ 1 早送り/巻き戻しや頭出しをする

早送り/巻き戻し / 頭出し

早送り/巻き戻しをして、曲の聞きたいところから再生を始めることができます。また、次の曲の頭出しや、今聞いている曲の頭出しも簡単にできます。

テープを進めるとき

1 早送りや次の曲の頭出しをする

▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



再生時間カウンター (通常の再生)

FF (早送り)

F-MS (次の曲の頭出し)

再生時間カウンターに戻る

テープを戻すとき

1 巻き戻しや今聞いている曲の頭出しをする

◀ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



再生時間カウンター (通常の再生)

REW (巻き戻し)

R-MS (今聞いている曲の頭出し)

再生時間カウンターに戻る

メモ

早送り/巻き戻しや頭出しは、BAND ボタンを押しても途中で解除されます。

テープ 2

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード
( テープ ③)

スキャンモード
( テープ ④ 38 ページ)

ブランクスキップモード
( テープ ⑤ 39 ページ)

ドルビー B NRモード
( テープ ⑥ 39 ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

テープ 3

同じ曲を繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 リピートモードにする

F ボタンを押して選ぶ
( テープ ②)



2 リピート再生を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

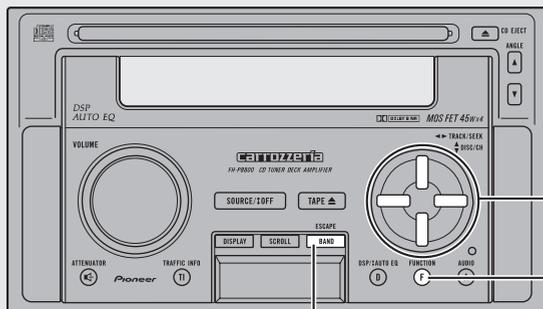
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



リピート再生中に表示されます。

メモ

“ RPT ” が表示されているときは、BAND ボタンを押してもリピート再生を OFF にできません。



バンド BAND ボタン

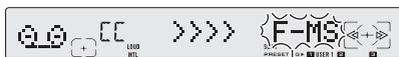
テープ 4 聞きたい曲を探す

スキャン再生

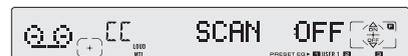
曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1 スキャンモードにする

F ボタンを押して選ぶ
(テープ ② 37 ページ)



スキャン中に点滅します。



スキャン再生中に表示されます。

2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



スキャン再生中に表示されます。

曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

聞きたい曲が再生されたら、もう一度スキャンモードにしてから、▼ボタンでスキャン再生をOFFにしてください。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

テープ
5

長い無音部分を自動的に早送りする

ブランクスキップ

テープ再生中に、約12秒以上の無音部分(あき)があった場合、自動的に次の曲の始めまで早送りさせることができます。

1 ブランクスキップモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(テープ ② 37 ページ)



2 ブランクスキップをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ブランクスキップがONのとき表示されます。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

テープ
6

ドルビー B NR でテープを聞く

ドルビー B NR

ドルビー B NR ON で録音したテープを聞くときは、本機もドルビー B NR をON にしてください。

1 ドルビー B NR モードにする

Fボタンを押して選ぶ
(テープ ② 37 ページ)



2 ドルビー B NR をONにする

▶ ボタンを押す (◀ ボタンでOFF)



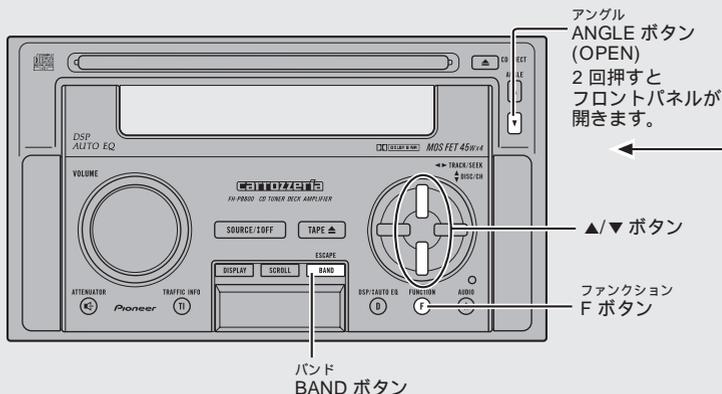
ドルビー B NR がONのとき表示されます。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

ドルビー B NR システムは、テープ再生中に生じる“サー”という雑音(ヒスノイズ)を減らすシステムです。

ドルビー ノイズリダクションはドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY およびダブルD記号はドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションの登録商標です。



マルチCD
1 聞きたいCDを
直接選ぶ (6/12枚)
ダイレクトサーチ

聞きたいCDを直接選ぶことができます。

チェック 6連奏/12連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 聞きたいCDを選ぶ

1～6のボタンを押す

2秒未満：1～6枚目のCDを選ぶとき
2秒以上：7～12枚目のCDを選ぶとき



CD番号

マルチCD
2 おおまかに選んでから聞
きたいCDを選ぶ (50枚)
ラフサーチ

聞きたいCDの10の位の数字を合わせる
ことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 聞きたいCDをおおまかに選ぶ

1～5のボタンを押す

1：10～19枚目のCDを選ぶとき
2：20～29枚目のCDを選ぶとき
3：30～39枚目のCDを選ぶとき
4：40～49枚目のCDを選ぶとき
5：50、51枚目のCDを選ぶとき



CD番号

2 聞きたいCDを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次のCDを選ぶとき

▼：前のCDを選ぶとき



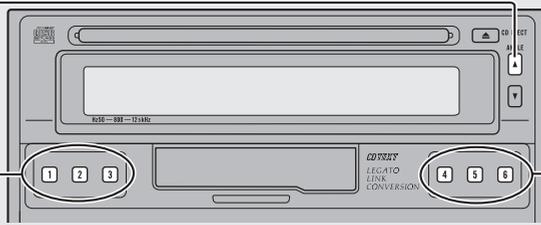
CD番号

メモ

エクストラトレイにあるCDを選んだときや、エクストラトレイからマガジンにCDが移動しているときは、“LOAD”が表示されます。(※50連奏マルチCDプレーヤーの取扱説明書)

アングル
ANGLE ボタン
(CLOSE)
2 回押すと
フロントパネルが
開まります。

1~3 のボタン



4~6 のボタン

1~6 のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

マルチ CD 3 モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ マルチ CD ④ 42 ページ)

タイトルリストモード
(☞ マルチ CD ⑩ 51 ページ)

ランダムモード (☞ マルチ CD ⑥ 44 ページ)

スキャンモード (☞ マルチ CD ⑤ 43 ページ)

ITS 再生モード (☞ マルチ CD ⑧ 46 ページ)

ポーズモード (☞ マルチ CD ⑬ 51 ページ)

COMP 切り換えモード
(☞ マルチ CD ⑫ 50 ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

F ボタンを 2 秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード
(☞ マルチ CD ⑪ 48 ページ)

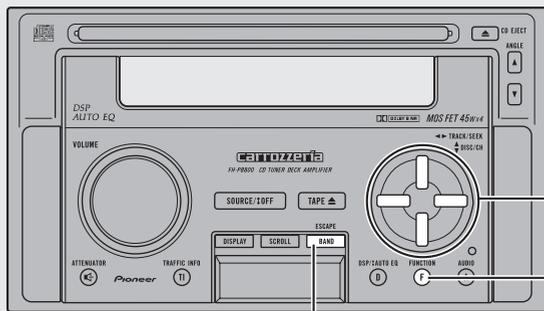
ITS 入力モード
(☞ マルチ CD ⑦ 45 ページ)

タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

「CD TEXT」に対応しているマルチ CD プレーヤー (「CDX-P650」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)



バンド
BAND ボタン

マルチCD 4 同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TRK (トラックリピート)

DSC (ディスクリピート)

MCD (マルチCDリピート)

TRKに戻る

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートのときに
表示されます。

トラックリピートのときは“RPT”、ディスクリピートのときは“DISC”が表示されます。

1 リピートモードにする

F ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ④ 41 ページ)



聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ徐々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを徐々に聞くこともできます。

1 リpeatモードにして 再生範囲を選ぶ (E/F マルチCD④)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

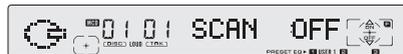
再生範囲をディスクリピートまたはトラックリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

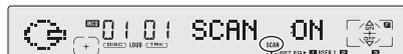
2 スキャンモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(E/F マルチCD④ 41ページ)



3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



スキャン再生中に表示されます。
曲の始めの約10秒間が徐々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生の種類が表示されます。

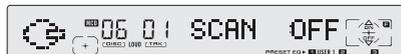
表示	再生範囲
T.SCAN	ディスクリピート
D.SCAN	マルチCDリピート

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

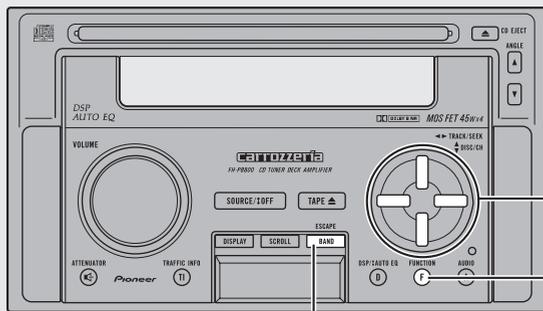
スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。



マルチCD 6 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 リpeatモードにして再生範囲 を選ぶ (E マルチCD 42 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモード にする

F ボタンを押して選ぶ
(E マルチCD 41 ページ)



3 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモード
を解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

記憶させた曲だけ再生する (☞ マルチCD ⑧ 46 ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (☞ マルチCD ⑨ 46 ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき24曲まで記憶できます。

(25曲以上収録されているCDでは、25曲目以降に収録されている曲は、記憶できません。)

ITSは、タイトル (☞ マルチCD ⑩ 48 ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(☞ ここだけで⑤ 22 ページ)

2 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD ⑪ 41 ページ)



3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

(☞ ここだけで⑤ 23 ページ)

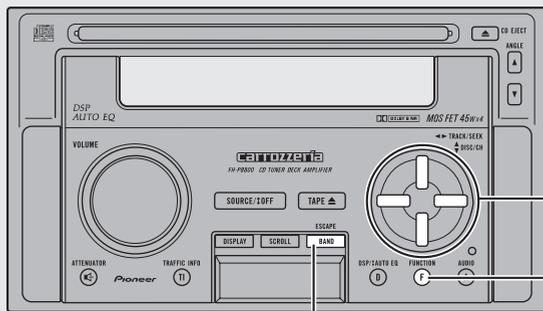
4 記憶させる

▲ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



バンド
BAND ボタン

マルチCD 8 記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (☞ マルチCD ⑦ 45 ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 リpeatモードにして再生範囲 を選ぶ

(☞ マルチCD ④ 42 ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS再生モードにする

F ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ③ 41 ページ)



3 ITS再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY”が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

マルチCD

9

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS再生をONにする

(マルチCD⑧)

2 消去したい曲を再生する

◀または▶ ボタンを押す

(ここだけで⑤ 23 ページ)

3 ITS入力モードにする

F ボタンを2秒以上押してから、F ボタンを押して選ぶ (マルチCD⑧ 41 ページ)



4 消去する

▼ ボタンを押す



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

マルチCD

10

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

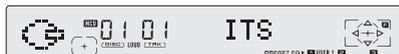
▲または▼ ボタンを押す

(ここだけで⑤ 22 ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。(マルチCD⑧)

2 ITS入力モードにする

F ボタンを2秒以上押してから、F ボタンを押して選ぶ (マルチCD⑧ 41 ページ)



3 消去する

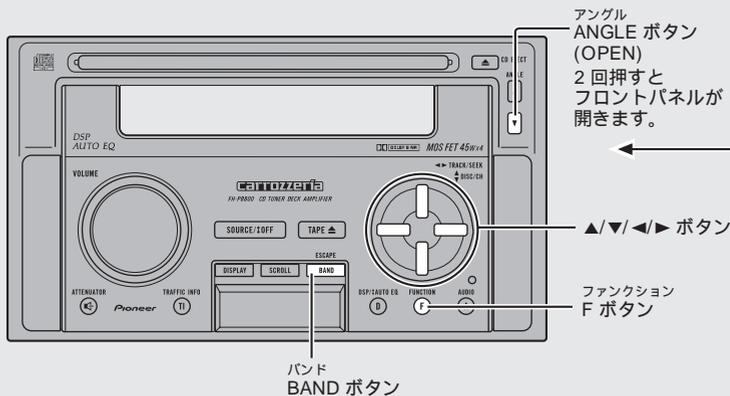
▼ ボタンを押す



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

マルチCDでCDを聞く



マルチCD 11 CDのタイトルを記憶させる

CDのタイトルを表示させる (※マルチCD 52 ページ) ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (※マルチCD 51 ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P650」など) では、「CD TEXT」にあらかじめ記憶されているCDタイトルで同様にタイトルリストをすることができます。

タイトルは10文字まで入力できます。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

タイトルは、ITS (※マルチCD 45 ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(※ここだけで 22 ページ)

2 タイトル入力モードにする

F ボタンを2秒以上押してから、F ボタンを押して選ぶ (※マルチCD 41 ページ)



約2秒間表示されます。

ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P650」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルは変更できません。)

3 タイトルを入力する

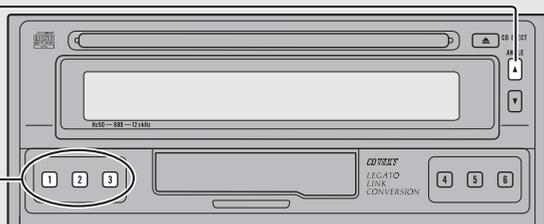
入力する位置を選ぶとき

- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。

アングル
ANGLE ボタン
(CLOSE)
2 回押すと
フロントパネルが
閉まります。



1~3 のボタン

1~3 のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

タイトル入力

入力する文字を選ぶとき

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

選べる文字は次のように切り換わります。

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a ~ z)、空白 (_) アルファベットの大文字 (A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、 記号 (!、#、& など) 空白 (_)
2ボタン	数字 (0 ~ 9)、 記号 (!、#、& など)、 空白 (_)
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア ~ ン)、 ハイフン (-)、 空白 (_) 拗促音 (ア、ヨ、ツ など)、 濁点、半濁点、 空白 (_)

4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す

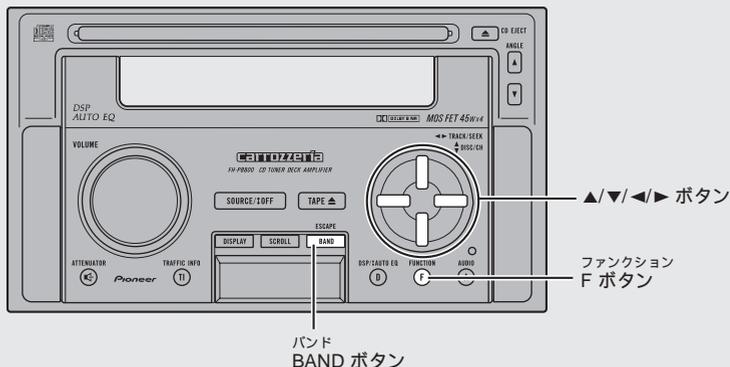


入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に BAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)



マルチCD 12 CDの音質を調整する

COMP / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

COMPについて

COMPとは、COMPression (コンプレッション) の略です。コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP切り換えモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(マルチCD ④ 41ページ)



現在のCOMP / DBEの状態が表示されます。

2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

COMP OFF COMP 1 COMP 2

DBE 2 DBE 1 COMP OFF



現在のCOMP/DBEの状態
が表示されます。

COMP 1、2のときは“CMP”、DBE 1、2のときは“DBE”が表示されます。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

マルチCD
13

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(マルチCD 41ページ)



2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

マルチCD
14

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 タイトルリストモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(マルチCD 41ページ)



約2秒間表示されます。

2 聞きたいCDを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき
- ◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



CD番号が記憶されているタイトルが表示されます。
点滅します。

3 選んだCDを再生する

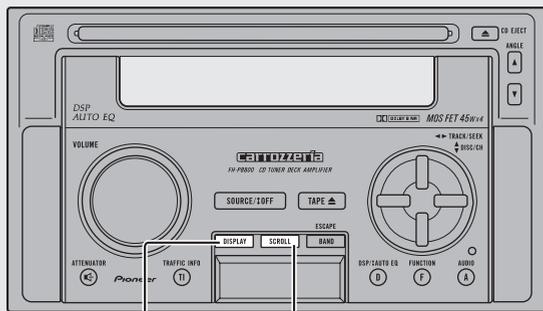
▲ ボタンを押す



選んだCDが再生されます。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

マルチCDでCDを聞く



ディスプレイ
DISPLAY ボタン

スクロール
SCROLL ボタン

マルチCD 15 表示を切り換える

表示切り換え

再生経過時間以外に、ディスクタイトル(ディスク名)やトラックタイトル(曲名)などを表示させることができます。タイトルは一度に10文字まで表示できます。また、「CD TEXT」でタイトルが10文字を超える場合は、隠れている文字を順に表示(スクロール表示)させることもできます。

タイトル表示について

「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P650」など)に「CD TEXT」をセットしたときは、ディスクタイトル、トラックタイトル、およびアーティストネームを表示させることができます。

タイトル入力(マルチCD 48ページ)したCDはディスクタイトルを表示することができます。トラックタイトルやアーティストネームに切り換えると「NO TITLE」、「NO DA-NAME」、および「NO TA-NAME」が表示されます。

本機はカナ文字に対応していますので、カナやアルファベットの小文字がそのまま表示されます。

表示をディスクタイトル、トラックタイトル、およびアーティストネームに切り換えたときに、自動的に1回スクロール表示します。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ディスプレイが切り換わります。

例) ディスクタイトル表示



表示は次のように切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル (ディスク名)

ディスクアーティストネーム (歌手名)

トラックタイトル (曲名)

トラックアーティストネーム (歌手名)

時計表示 (☞ 便利な機能② 67 ページ)

カレンダー表示 (☞ 便利な機能② 67 ページ)

エンターテイメント表示
(☞ 便利な機能② 67 ページ)

再生経過時間表示に戻る

2 隠れているタイトルを表示する (スクロール表示)

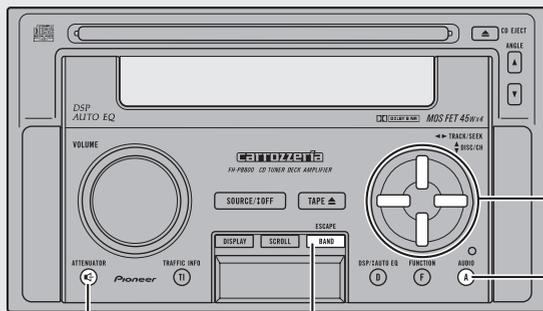
SCROLL ボタンを押す



隠れている文字が順番に表示されます。

メモ

トラックアーティストネームなどが収録されていない「CD TEXT」で表示を切り換えると、「NO TA-NAME」などが表示されます。



アッテネーター
ATTENUATOR ボタン

バンド
BAND ボタン

▲/▼/◀/▶ ボタン

オーディオ
A ボタン

音の調節

1

瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1

瞬時に音量を小さくする

ATTENUATOR ボタンを押すボタンを押すごとに ON/OFF します。



アッテネーターが ON のときに点滅します。
アッテネーターが ON のときは、音量が約 1/10 になります。

音の調節

2

オーディオ調節モードの切り換えかた

1

オーディオ調節モードを切り換える

A ボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード (音の調節④)

サブウーファーモード^{1 2}
(音の調節⑥ 57 ページ)

サブウーファー調節モード^{1 2}
(音の調節⑦ 57 ページ)

ラウドネスモード (音の調節④)

SLA モード³ (音の調節⑤ 56 ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

¹サブウーファー機能 (音の調節⑥ 57 ページ) を OFF にした場合は、サブウーファー調節モードには切り換わりません。

²RCA 外部出力の設定 (便利な機能⑦ 70 ページ) をリアー出力にした場合は、サブウーファーモード、サブウーファー調節モードには切り換わりません。

³ラジオの FM 放送を聞いているときは、SLA モードには切り換わりません。

前後左右の音量 バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節 モードにする

A ボタンを押して選ぶ

( 音の調節②)



2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



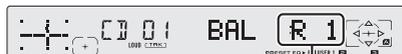
前後のバランスは F25 ~ R25 の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき

◀ : 左を強めるとき



左右のバランスは L25 ~ R25 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

小音量時の音に メリハリをつける

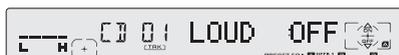
ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。(この機能は、初期設定ではONになっています。)

1 ラウドネスモードにする

A ボタンを押して選ぶ

( 音の調節②)



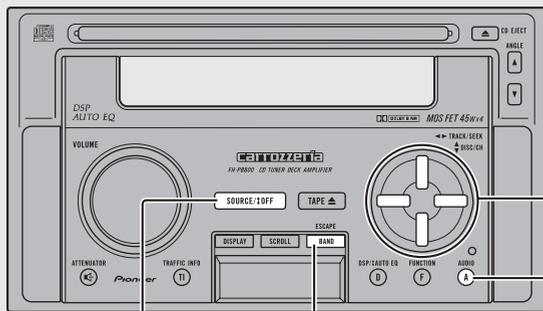
2 ラウドネスをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ラウドネスがONのときに表示されます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。



ソース
SOURCE ボタン

バンド
BAND ボタン

▲/▼/▶/◀ ボタン

オーディオ
A ボタン

音の調節

5

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

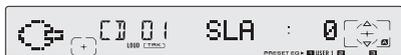
SOURCE ボタンを押す
(ここだけで④ 20 ページ)

2 調節したいソースに切り換える

SOURCE ボタンを押す
(ここだけで① 14 ページ)

3 SLA モードにする

A ボタンを押して選ぶ
(音の調節② 54 ページ)

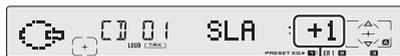


4 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



- 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター)の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、CD、テープ、MD、AUX (外部機器)、EXT (エクスターナルユニット)のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、およびAMと交通情報 (便利な機能① 66 ページ) は同じ設定になります。

サブウーファーを
使う

サブウーファー

サブウーファーの出力をON/OFFしたり、位相の設定をすることができます。(この機能は、初期設定ではOFFになっています。)

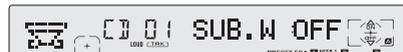
位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相(フロント/リアスピーカーと同時に出力される)が良いか、逆相(フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される)が良いかを選んで設定してください。

1 サブウーファーモードにする

A ボタンを押して選ぶ

( 音の調節 ② 54 ページ)

2 サブウーファー機能を
ONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



サブウーファーがONのときに表示されます。

3 位相を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

◀ : PHASE :REV (逆相)

▶ : PHASE :NOR (正相)



BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

サブウーファーを
調節する

サブウーファー調節

サブウーファーの出力をONにすると、カットオフ周波数、出力レベルの設定をすることができます。

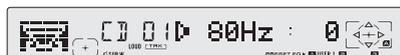
カットオフ周波数について

50、80、125 (Hz) から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

1 サブウーファー調節
モードにする

A ボタンを押して選ぶ

( 音の調節 ② 54 ページ)



メモ

サブウーファーをOFFにしたときは、サブウーファー調節モードには、切り換わりません。

2 周波数とレベルを
調節する

周波数を選ぶとき

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



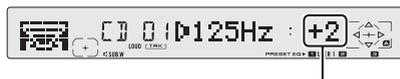
50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

レベルを調節するとき

▲ または ▼ ボタンを押す

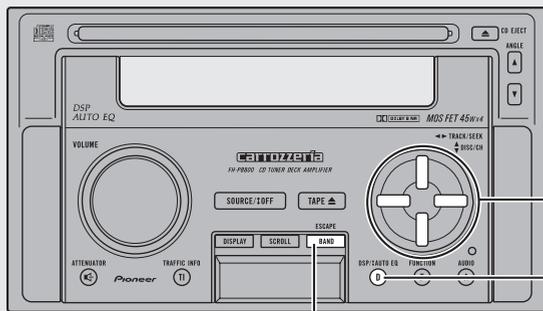
▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。



バンド
BAND ボタン

ディーエスピー
DSP ボタン

▲/▼/◀/▶ ボタン

DSP 調節
1

DSP 調節モードの切り換えかた

DSP の機能を使って音場と音質を調節するとき、DSP 調節モードに切り換えて操作します。

1 DSP 調節モードを切り換える

DSP ボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。

グラフィックイコライザーモード
(DSP 調節 ④ 60 ページ)

リスニングポジションセレクターモード
(DSP 調節 ②)

グラフィックイコライザーモードに戻る

メモ

DSP 調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

DSP 調節
2

音場の中心で聞く

リスニングポジションセレクター

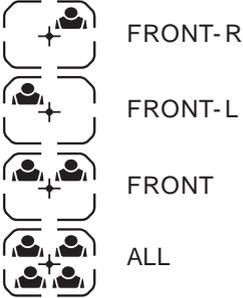
乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。

リスニングポジションセレクターについて



リスニングポジションセレクターは、座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルが調節される機能です。この機能により、どの座席位置でも自然な音響特性が得られます。

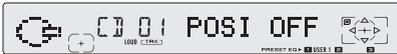
乗車位置について



表示	乗車位置
FRONT-R	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
FRONT-L	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
FRONT	同乗者が助手席にいるとき
ALL	同乗者が後部座席にいるとき

1 リスニングポジションセクターモードにする

DSPボタンを押して選ぶ
(DSP調節①)



2 乗車位置を選ぶ

▲、▼、◀、▶ ボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。

- ▶ : FRONT-R
- ◀ : FRONT-L
- ▲ : FRONT
- ▼ : ALL



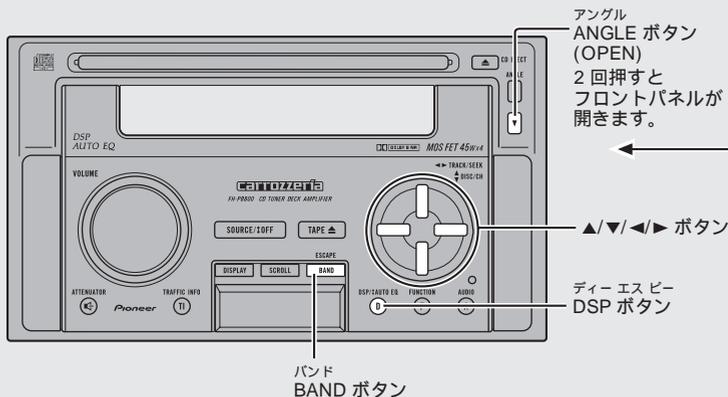
ポジションマーク
が表示されます。

選んだ乗車位置が
表示されます。

BANDボタンを押して、DSP調節モードを解除してください。

メモ

リスニングポジションごとに、音量バランス (音の調節④ 55 ページ) を記憶させることができます。



DSP調節
3

音楽に合った音質を設定する

グラフィックイコライザー

自分で設定したもの2種類（ユーザーカーブ）と何の補正もしていないもの1種類の中から、イコライザーカーブを選ぶことができます。

FLATとユーザーカーブについて

ユーザーカーブ (USER 1、2)

イコライザー調節 (DSP調節④) により、イコライザーカーブをお好みに応じて調節し、記憶させることができます。

FLAT

何の補正もしていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、効果を確かめるのに使くと便利です。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP調節① 58 ページ)



2 イコライザーカーブを切り換える

1 ~ 3 のボタンの1つを押す

USER 1 : 1のボタン

USER 2 : 2のボタン

FLAT : 3のボタン



選んだイコライザーカーブが表示されます。

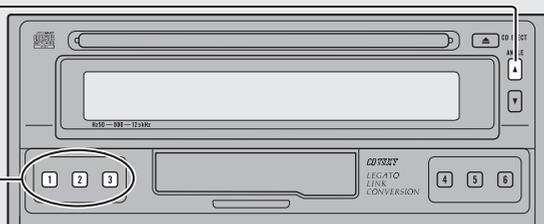
BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

USER 1、2には、初期設定でFLATが記憶されています。イコライザー調節 (DSP調節④) でお好みに合わせて調節してください。オートイコライジング (DSP調節⑥ 64 ページ) を行った場合、呼び出しているイコライザーカーブのボタンを押すごとに、AUTO EQのON/OFFができます。AUTO EQをONにすると、ディスプレイに“ AUTO EQ ”が表示されます。

アングル
ANGLE ボタン
(CLOSE)
2 回押すと
フロントパネルが
閉まります。

1~3 のボタン



1~3 のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

DSP 調節

4

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザー調節

ユーザーカーブは、お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。調節した内容は自動的に記憶されます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP 調節① 58 ページ)



2 ユーザーカーブを呼び出す

1 または 2 のボタンの 1 つを押す

USER 1 : 1 のボタン

USER 2 : 2 のボタン



メモ

USER 1 を選んでいるときに、2 ボタンを 2 秒以上押すと、USER 1 のカーブが USER 2 に記憶されて、USER 2 が選ばれます。USER 1 のカーブをもとにして、USER 2 のカーブを作りたいときに便利です。(USER 2 を選んでいるときに、1 ボタンを 2 秒以上押すと、USER 2 のカーブが USER 1 に記憶されます。)

3 各周波数ごとのレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す



周波数は、次の中から選べます。

50、80、125、200、315、500、800、
1.3k、2k、3.2k、5k、8k、12.5k (Hz)

レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 効果を強めるとき

▼ : 効果を弱めるとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

調節したユーザーカーブは、ソースごとに記憶されます。なお、内蔵 CD とマルチ CD は同じ設定になります。

音場と音質を調節する

オートイコライジングを行う前に

オートイコライジングを行う前に必ずお読みください。



警告

走行中にオートイコライジングを行わない



禁止

走行中にオートイコライジングを行わないでください。オートイコライジング機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

スピーカーの破損防止について

次の状態でオートイコライジングを行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。オートイコライジングを行う前に、よく確認してください。

スピーカーの接続を誤っている場合

(例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)

スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

オートイコライジング機能について

車室内空間は、その狭さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。

本機のオートイコライジング機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。(イコライザーカーブを呼び出したときは、オートイコライジングにより、乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。)

オートイコライジングを行う前にお読みください

オートイコライジングは、なるべく静かな所で、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すか電源を切ってからオートイコライジングを行ってください。計測音以外の音（車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など）によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。

オートイコライジングは、必ず付属のマイクを使用して行ってください。付属のマイク以外のマイクでは、オートイコライジングが実行できなかつたり、車室内の音響特性が正しく測定できません。

フロントスピーカーまたはリアスピーカーが、どちらも接続されていない場合は、オートイコライジングが実行できません。（どちらかが接続されていれば、オートイコライジングが実行できます。）

入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合に、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げていたり、オートイコライジングが実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは推奨位置に合わせてください。

オートイコライジングを行うと、サブウーファアの位相、レベルが自動的に調節され、お客様が調節された内容は変更されません。（サブウーファアを接続している場合、サブウーファア出力（ 音の調節 ⑤ 57ページ）をOFFにしてもサブウーファアはONになり、自動的に調節されます。）

オートイコライジングを行うと前後左右の音量バランス調節（ 音の調節 ⑥ 55ページ）の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。

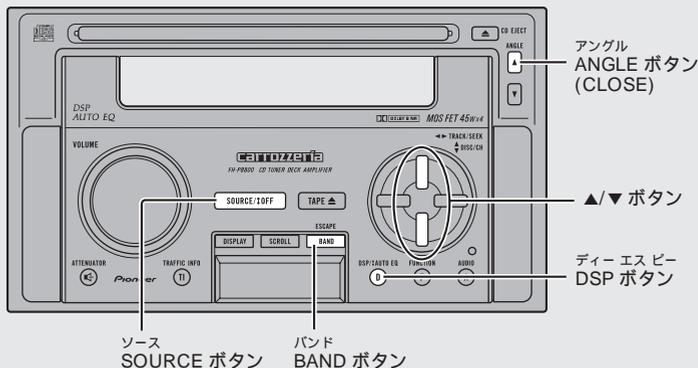
オートイコライジングを行うと、イコライザーカーブは、FLATに設定されます。

オートイコライジングを行うと、リスニングポジションセレクター（ DSP調節 ② 58ページ）は、FRONT-Rに設定されます。（ただし、FRONT-Lに設定していたときだけは、FRONT-Lのままになります。）

オートイコライジングの調節内容について

一度オートイコライジングを行った後に、RCA外部出力設定（ 便利な機能 ⑦ 70ページ）を切り換えると、オートイコライジングの調節内容が消去されます。再度、オートイコライジングを行ってください。

一度オートイコライジングを行った後に、再度オートイコライジングを行った場合は、前のオートイコライジングの調節内容は消去されます。



DSP調節 6 オートイコライジングを行う

オートイコライジングの調節

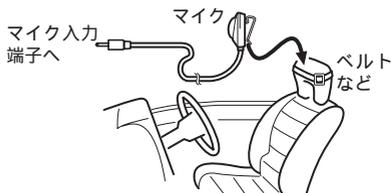
車室内の音響特性を自動的に計測して、車室内の音響特性を最適に自動補正することができます。

1 車の環境を整える

静かな所に車を停車させる
ドア、窓、サンルーフなどを閉める
車のエンジンを停止させる

2 マイクをセットする

ベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に付属のマイクを前向きに固定する



ご注意

マイクの取付位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がる恐れがあります。マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

3 車のエンジンスイッチをACCまたはONにする

ご注意

車のエアコンやヒーターがON になっている場合は、OFF してください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってオートイコライジングが実行できないことがあります。

4 本機の電源を入れる

SOURCE ボタンを押す

5 乗車位置を決定する

リスニングポジションセレクターモードにして、乗車位置をマイクをセットした座席に設定する。

(※ DSP 調節② 58 ページ)

メモ

乗車位置を FRONT-R または FRONT-L 以外に設定したときは、オートイコライジングを始めると、強制的に FRONT-R に再設定されます。

6 本機の電源を切る

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す

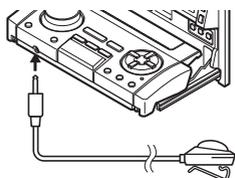
7 オートコライジングモードにする

DSP ボタンを
2 秒以上押し
フロントパネルが
開きます。



8 マイクを本機に接続する

付属のマイクをマイク入力端子に接続する



メモ

フロントパネルがシフトレバーに当たったり、シフトレバーがマイクを接続する妨げになる場合は、BAND ボタンを押して、オートコライジングモードをいったん解除します。
ANGLE ボタンを押して、マイクを接続できる角度に調節した後に、マイクをマイク入力端子に接続します。そして、DSP ボタンを2秒以上押し、手順9に進んでください。

9 オートコライジングを始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



ご注意

オートコライジングを行っているときは、CD やテープの挿入などでソース切り換えをしないでください。

10 車外に出る

10 秒のカウントダウンが始まるので、10 秒以内に車外に出て、ドアを開める計測音 (ノイズ) が各スピーカーから出力され、オートコライジング (音響特性の測定および補正) が始まります。

11 オートコライジングが自動的に終了する



オートコライジング操作が終わったらセットしたマイクを取り外し、BAND ボタンを押して電源を切り、ANGLE (CLOSE) ボタンを2回押してフロントパネルを元の位置に戻してください。オートコライジングが正常に終了した後は、すべてのイコライザーカーブに対して AUTO EQ ON となり、ディスプレイに " AUTO EQ " が表示されます。



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。
フロントパネルを全開にしたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

メモ

オートコライジングを途中でやめなくなったときは、BAND ボタンを押してください。強制的に解除して、電源 OFF になります。
マイクをセットする位置により、オートコライジングの調節内容が変わります。
お好みにより、助手席にセットすることもできます。マイクはグローブボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。



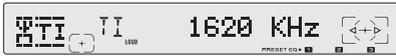
便利な機能 1 交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 交通情報を受信する

TI ボタンを押す



交通情報を受信します。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 1,629 kHzにするとき

◀ : 1,620 kHzにするとき



受信周波数

3 交通情報の受信をやめる

TI ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

交通情報を受信しているときは、交通情報用の音量を設定することができます。

交通情報を受信すると、イコライザーカーブは交通情報用になります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。

時計、カレンダー などを表示させる

表示切り換え

ディスク名などのソースごとのディスプレイ表示以外に、時計表示などに切り換えることができます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ディスプレイが切り換わります。

例) 時計表示



例) カレンダー表示



例) エンターテイメント表示



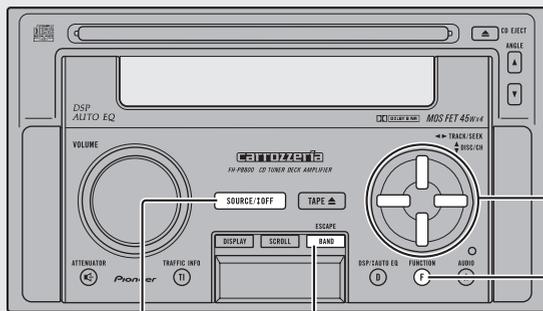
メモ

時計を合わせるには (E 便利な機能 4 69 ページ)

カレンダーを合わせるには

(E 便利な機能 5 69 ページ)

時計表示自動復帰設定 (E 便利な機能 6 70 ページ) を ON にしているときは、どの表示を選んでも、約 25 秒後に時計表示になります。



便利な機能

3

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源を OFF にする

SOURCE ボタンを押す
(☞ はじめに ① 14 ページ)

2 初期設定モードにする

電源が OFF のときに、F ボタンを 2 秒以上押す

3 初期設定モードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

時計調節モード (☞ 便利な機能 ④)

カレンダー調節モード (☞ 便利な機能 ⑤)

時計表示自動復帰設定モード
(☞ 便利な機能 ⑥ 70 ページ)

AUX (外部機器) モード
(☞ 便利な機能 ⑧ 71 ページ)

RCA 外部出力モード
(☞ 便利な機能 ⑦ 70 ページ)

ディマーモード (☞ 便利な機能 ① 73 ページ)

デジタルアッテネーターモード
(☞ 便利な機能 ⑩ 72 ページ)

コントラスト調節モード
(☞ 便利な機能 ⑫ 73 ページ)

時計調節モードに戻る

メモ

初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(解除すると、電源が OFF になります。)

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

1 時計調節モードにする

電源がOFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ
( 便利な機能③)

12:00 Pm 

2 時計の設定をする

時、分を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

12:00 Pm 

押すごとに時、分が切り換わります。

時刻を合わせる

▲または▼ボタンを押す

▲：時刻を進めるとき

▼：時刻を戻すとき

12:20 Pm 

時または分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

日付を合わせる

カレンダー

日付を合わせることができます。

1 カレンダーモードにする

電源がOFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ
( 便利な機能③)

01/01/1999 

2 年月日の設定をする

日、月、年を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

01/01/1999 

押すごとに日、月、年が切り換わります。

日付を合わせる

▲または▼ボタンを押す

▲：数字が増加します

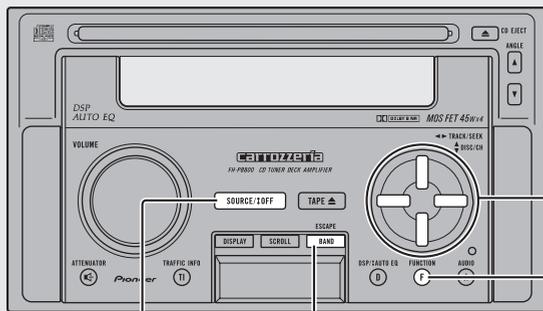
▼：数字が減少します

21/01/1999 

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

年は1999年～2098年までの範囲内で設定できます。



ソース SOURCE ボタン バンド BAND ボタン

▲/▼/◀/▶ ボタン

ファンクション F ボタン

便利な機能
6

自動的に時計表示に切り換わるようにする

時計表示自動復帰

他の操作をした後、約25秒後に自動的に時計表示に復帰するように設定できます。

1 時計表示自動復帰設定モードにする

電源がOFFのときにFボタンを2秒以上押ししてから、Fボタンを押して選ぶ (☞ 便利な機能⑥ 68ページ)



2 時計表示自動復帰設定をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

便利な機能
7

RCA外部出力から出力される信号を選ぶ

本機のリアー出力またはサブウーファー出力に外部アンプを接続した場合、外部アンプに接続するスピーカーに合わせてこの設定を切り換えます。

1 RCA外部出力モードにする

電源がOFFのときにFボタンを2秒以上押ししてから、Fボタンを押して選ぶ (☞ 便利な機能⑥ 68ページ)



2 接続するスピーカーに合わせて選択する

◀または▶ボタンを押す

- ▶ : (S/W) サブウーファーを接続するとき
- ◀ : (RER) リアスピーカーを接続するとき



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

リアスピーカーに設定したときは、サブウーファーの調節 (☞ 音の調節⑥ 57ページ) はできません。

外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器) モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ

(▶ 便利な機能③ 68ページ)



2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをAUXにする

SOURCEボタンを押して選ぶ

(▶ ここだけで① 14ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースをAUXにする

SOURCEボタンを押して選ぶ

(▶ ここだけで① 14ページ)



2 外部機器の名称入力モードにする

Fボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

3 外部機器の名称を入力し、記憶させる

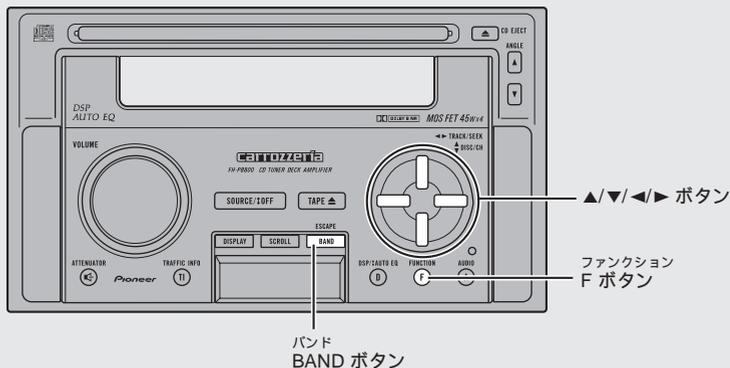
(▶ 内蔵CD② 26ページ)

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

例) “DAT” を入力した場合



“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。



便利な機能 10 音の歪みを補正する

デジタルアッテネーター

イコライザーカーブの設定 (DSP 調節④ 61 ページ) による音の歪みをなくすることができます。

デジタルアッテネーターについて

イコライザーカーブの設定 (DSP 調節④ 61 ページ) でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定を L に切り換えてください。

1 デジタルアッテネーターモードにする

電源が OFF のときに F ボタンを 2 秒以上押ししてから、F ボタンを押して選ぶ (便利な機能⑨ 68 ページ)

DIGATT : H

2 設定を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : H (ハイ) を選ぶとき
- ◀ : L (ロー) を選ぶとき

DIGATT : L

BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマー

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなるように設定できます。

1 ディマーモードにする

電源がOFFのときにFボタンを2秒以上押ししてから、Fボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能 68 ページ)

DIMMER OFF 

2 ディマーの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)

DIMMER ON 

BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

ディスプレイの明暗を調節する

コントラスト

ディスプレイの明暗を、お好みに合わせて変更することができます。

1 コントラスト調節モードにする

電源がOFFのときにFボタンを2秒以上押ししてから、Fボタンを押して選ぶ
(☞ 便利な機能 68 ページ)

CONTRAST 0 

2 明暗を調節する

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 明暗の差をはっきりさせるとき

◀ : 明暗の差を小さくするとき

CONTRAST +1 

- 7 ~ + 7 の範囲で調節できます。

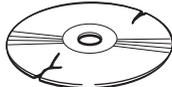
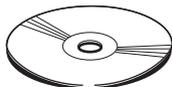
BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

使用できるCDについて

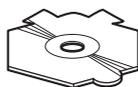
下記マークの付いているコンパクトディスク (光学式デジタルオーディオディスク) をご使用ください。



ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。

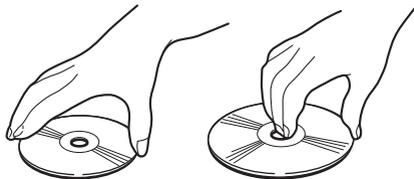


CDレコーダーで記録したCD-Rディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

CD-Rディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。



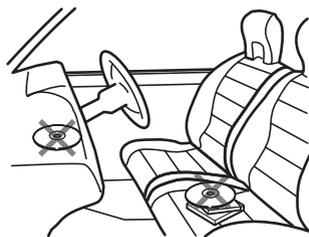
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

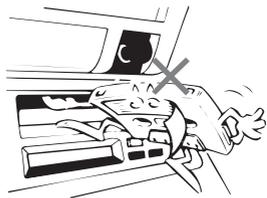
寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

テープの正しい使いかた

ご使用になるテープについて

ラベルがはがれかけたテープは使用しないでください。ラベルが引っかかり、テープが取り出せなくなります。このようなテープは、ラベルをはがしてからお使いください。



C-90 (90分用)までのテープをお使いください。

C-120 (120分用)のテープは使用しないでください。テープが非常に薄いため、テープが回転部分に巻き付いたり、切れたりすることがあります。

保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、テープを保管しないでください。テープが変形してしまいます。



スピーカーの近くや磁石の近くなど、磁気のあるところにテープを保管しないでください。

テープを聞かないときは、テープがゆるまないようにカセットケースに入れて保管してください。

ヘッドのお手入れについて

テープのヘッドは、月に1~2回程度クリーニングしてください。ヘッドの汚れがひどくなると、音が悪くなったり、音とびを起こしたりします。定期的にクリーニングするように心がけてください。

ヘッドのクリーニングには、クリーニングカセット「ST-650」(別売)をおすすめします。テープ再生と同じようにセットするだけで、ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーなど、テープデッキの内部の汚れを一度に清掃してくれます。カーステレオ販売店で買い求めください。



市販のクリーニングテープをお使いになるときは、説明書や注意書きを十分お読みください。また、一度の清掃につき片面1回だけ走行させてください。何度もテープ走行させると、ヘッドの磨耗を早めますのでご注意ください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と
思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても
直らないときは
本機をリセットしてく
ださい。(☞ はじめに⑥ 11
ページ)

それでも
直らないときは
保証書とアフターサービ
ス (☞ その他③ 77ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のものとの交換してく ださい。(☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで②③④⑤ 17、19、21、23ページ)
	アッテネーターがONに なっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ 音の調節① 54ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 55ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 55ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 55ページ)

CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他① 75 ページ)
	CDに曇りや水滴が付いている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他① 75 ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(☞ ここだけで② 16 ページ)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジー、ザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで④ 21 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで④ 21 ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで④ 21 ページ)

テープ

症 状	原 因	処 置
テープ再生の途中で、再生面が自動的に切り換わる。	テープがからみついている。	テープを交換してください。
テープ再生の音質が悪い。	テープの巻きかたが乱れている。	早送りや巻き戻しをして、テープを均一に巻き直してください。 (☞ テープ① 36ページ)
	テープの録音状態が良くない。	ほかのテープと交換してください。 良くなればテープの不良です。
	ドルビー B NRが正しく働いていない。	録音したときのドルビー NRと、本機のドルビー B NRのON/OFFを合わせてください。(☞ テープ⑥ 39ページ)
	テープヘッドが汚れている。	テープヘッドの汚れを清掃してください。 (☞ その他② 76ページ)
頭出しが正しく働かない。 リピート再生が正しく働かない。 スキャン再生が正しく働かない	曲と曲の間の“あき”が4秒以上ない。	“あき”が4秒以上のテープを使用してください。
	会話のように、音の途切れている部分が4秒以上続いている。	このような録音内容のテープでは、“あき”があると判断してしまうため、頭出し、リピート再生、およびスキャン再生が正しく働かないことがあります。
	曲の途中で、非常に小さな音が4秒以上続いている。	
テープをセットしても再生が正しく働かない	テープが切れているか、からみついている	テープを交換してください。
音が出ない	録音されていないテープを使っている	録音してあるテープと交換してください。

CDのエラー表示

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他① 75 ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-14」	追記型CD (CD-R) を録音しないまま使用しているとき。	追記型CD (CD-R) は、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。

メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラー番号が表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

オートイコライジング機能のエラー表示

オートイコライジング機能によって、車室内の音響特性を正常に測定できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。内容を確認して、もう一度操作をやりなおしてください。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR-1」	マイクが接続されていない。	付属のマイクをきちんと差し込んでください。(☞ DSP調節⑥ 65 ページ)
「ERROR-2」	スピーカーの計測音がマイクでひろえない。	ソースを切り換えて、スピーカーから音が出るか確認してください。音が出ない場合は、スピーカーリード線の接続を確認してください。
		付属のマイクを正しくセットしてください。
「ERROR-3」	周囲の騒音レベルが高すぎる。	なるべく静かな所に車を停車させ、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。
		付属のマイクを正しくセットしてください。

アンプ・オーディオ部

最大出力 : 45 W × 4
 定格出力 : 22 W × 4
 (50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)

13バンド

イコライザー

周波数 : 50 Hz、80 Hz、125 Hz、
 200 Hz、315 Hz、500 Hz、
 800 Hz、1.25 kHz、2 kHz、
 3.15 kHz、5 kHz、8 kHz、
 12.5 kHz、

13バンド

イコライザー

調整幅 : ± 12 dB

サブウーファー

クロスオーバー

周波数 : 50 Hz、80 Hz、125 Hz

サブウーファー

クロスオーバー

スロープ : - 18 dB/oct

サブウーファー

クロスオーバー

スロープ調整幅 : ± 12 dB

ラウドネス

コンター : 10 dB (100 Hz)、
 7 dB (10 kHz)
 (ボリューム : - 30dB)

負荷

インピーダンス : 4 (4 ~ 8 使用可能)

プリアウト

最大出力レベル : 2 V

出力インピー

ダンス : 1 k

CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
 オーディオシステム

使用ディスク : コンパクトディスク
 信号

フォーマット : サンプル周波数 : 44.1 kHz
 量子化ビット数 : 16 ビット直線

周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)

S/N : 92 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック

レンジ : 91 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

テープデッキ部

使用テープ

パック : コンパクトカセット
 (C-30 ~ C-90)

テープ速度 : 4.8 cm/sec.

早送り/

巻き戻し時間 : 約 100 秒 (C-60)

回転ムラ : 0.09 % (WRMS)

再生周波数特性 : メタルテープ :
 30 ~ 19,000 Hz (± 3 dB)

ステレオ

セパレーション : 45 dB

S/N : メタルテープ :

DOLBY B NR IN

67 dB (IHF-A ネットワーク)

DOLBY NR OUT

61 dB (IHF-A ネットワーク)

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度 : 9 dBf (0.8 μ V/75 、
モノラル、S/N : 30 dB)
S/N 50 dB
感度 : 14 dBf
(1.4 μ V/75 、モノラル)
S/N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)
周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (\pm 3 dB)
ステレオ
セパレーション : 40 dB (65 dBf入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (\pm 9 kHz)
実用感度 : 18 μ V (S/N : 20 dB)
実効選択度 : 50 dB (\pm 9 kHz)

共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 10.0 A
外形寸法
(取付寸法) : 178 (W) \times 100 (H) \times
160 (D) mm
(ノーズ寸法) : 170 (W) \times 95 (H) \times 32 (D) mm
質量 : 3.0 kg (コードユニット含まず)

付属品

リモコン : 1
単4形
乾電池 (R03) : 2
マイク : 1
コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1 式
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーステレオ/カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-11

家庭用オーディオ/ビジュアル商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-22

カタログのご請求窓口

 0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

< 99I00F0R01 > < CRA2884-A >